

No. 515  
2014年  
6月

# OR学会だより

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F  
電話 (03) 3851-6100 Fax (03) 3851-6055  
<http://www.orsj.or.jp/>

## ● 第5回「近藤賞」候補者募集

「近藤賞」は、2007年日本OR学会創立50周年事業の一環として創設されたものであり、ORの研究、普及または教育に傑出した業績を挙げた個人（またはグループ）を表彰し、わが国のORの発展に資するとともに、広くこの分野の社会における認知度を高めることを目的としています。

このたび、下記の要領で第5回「近藤賞」受賞候補者を募集いたしますので、ご推薦くださいますようお願いいたします。

**推薦方法：**日本OR学会個人正会員および名誉会員による推薦

**提出書類：**推薦理由書、被推薦者の略歴および主要業績一覧表（書式自由）

**推薦対象者：**ORの研究、普及、または教育のいずれかの分野で傑出した業績を挙げた日本人、または日本を主たる活動の場とする人（グループも可）

**推薦締切：**2014年9月30日

**推薦書送付先：**日本OR学会事務局

E-mail: [jimukyoku@orsj.or.jp](mailto:jimukyoku@orsj.or.jp)

\* 受賞者は近藤賞選考委員会において決定し、2015年春季研究発表会で表彰を行い、受賞記念講演をしていただく予定です。

なお、「近藤賞」は2年に1回程度の頻度で募集を行う予定です。

詳しくは学会WEB

<http://www.orsj.or.jp/whatisor/award10.html>

<http://www.orsj.or.jp/~oldweb/Members/kondou.pdf> をご覧ください。

(表彰委員会)

## ● 2014年度支部紹介

\* 各支部の詳細は学会WEB <http://www.orsj.or.jp/whatisor/organization.html> をご覧ください。

### ・北海道支部

支部長：大堀隆文（北海道科学大学）

幹事：西川孝二（北海道科学大学）

### ・東北支部

支部長：中山 明（福島大学）

幹事：鈴木賢一（東北大学）

### ・中部支部

支部長：金子美博（岐阜大学）

事務局：(株)シグマフィールド

### ・関西支部

支部長：三道弘明（大阪大学）

幹事：林坂弘一郎（神戸学院大学）

### ・中国・四国支部

支部長：大橋 守（徳島大学）

幹事：宇野剛史（徳島大学）

### ・九州支部

支部長：丸山幸弘（長崎大学）

幹事：津留崎和義（長崎大学）

## ● 2014年秋季シンポジウム（第72回）

**日程：**2014年8月27日（水）13:00～

**場所：**北海道科学大学（札幌市手稲区前田7条15丁目4番1号）

**実行委員長：**加地太一（小樽商科大学）

**テーマ：**「メタヒューリスティクスの新たな挑戦」

**シンポジウムHP：**

[http://www.orsj.or.jp/~nc2014f/?page\\_id=5](http://www.orsj.or.jp/~nc2014f/?page_id=5)

**講師：**（発表予定順）

柳浦陸憲先生（名古屋大学）

永田裕一先生（徳島大学）

久保幹雄先生（東京海洋大学）

山本雅人先生（北海道大学）

**事前振込み参加費：**（8/15締切）

正・賛助会員：3,000円

学生会員：1,000円

非会員：4,000円

非会員の学生：事前振込みはなし

\* 非会員の学生の方は、当日受付にて学生会員と同額で参加できます。

\* OR学会機関誌7月号綴じ込みの振込用紙をご利用ください。

**正会員特典利用：(8/15締切)**

2014年度年会費納入済みの個人正会員は、2014年春・秋シンポジウムのうち1回無料で参加できます。OR学会機関誌7月号綴じ込みの振込用紙に○、またはメールにてお申込みください。事前の申し込みが必要です。

**当日受付参加費：**

正・賛助会員：当日4,000円

学生会員：当日2,000円

非会員：当日5,000円

非会員の学生：当日2,000円

\*学生の方は、当日受付にて学生証提示が必要となります。

**● 2014年秋季研究発表会**

日程：2014年8月28日(木)、29日(金)

場所：北海道科学大学(札幌市手稲区前田7条15丁目4番1号)

実行委員長：大堀隆文(北海道科学大学)

テーマ：「ORの普及」

大会HP：<http://www.orsj.or.jp/~nc2014f/>

発表申込み：5/22～6/22

事前振込み参加費：(8/15締切)

正・賛助会員：6,000円

学生会員：1,000円

非会員：8,000円

非会員の学生：事前振込みはなし。

\*非会員の学生の方は、当日受付にて学生会員と同額で参加できます。

\*OR学会機関誌7月号綴じ込みの振込用紙をご利用ください。

**当日受付参加費：**

正・賛助会員：当日7,000円

学生会員：当日2,000円

非会員：当日10,000円

非会員の学生：当日2,000円

\*学生の方は、当日受付にて学生証提示が必要となります。

**登壇料：**非会員の方が発表する場合、参加費と別途、2,000円を当日受付にてお支払いください。

**懇親会：**2014年8月28日(木)

事前振込み参加費：5,000円(8/15締切)

当日受付参加費：6,000円

**賛助会員の方へ：**

1口につき1名様が研究発表会に無料でご参加でき

ます。賛助会員受付にて名刺をご提示ください。(事前の参加連絡は不要です。)ご参加者様については、社内で調整をお願いいたします。ご欠席の場合は研究発表会アブストラクト集をお送りしております。

**参加費関連問合せ先：**OR学会事務局

E-mail: [jimukyoku@orsj.or.jp](mailto:jimukyoku@orsj.or.jp)

**● 2015年春季シンポジウム(第73回)**

日程：2015年3月25日(水)

場所：東京理科大学 神楽坂キャンパス

**● 2015年春季研究発表会**

日程：2015年3月26日(木)、27日(金)

場所：東京理科大学 神楽坂キャンパス

実行委員長：矢部 博(東京理科大学)

**● 研究部会・グループ開催案内**

〔信頼性〕

・第2回

日時：2014年6月14日(土) 16:25～17:35

場所：日本大学経済学部キャンパス本館2階中会議室2

<http://www.eco.nihon-u.ac.jp/about/maps/>

テーマと講師：

(1)「外れ値ノイズに対するロバスト状態推定—ロバスト推定のカルマンフィルタへの応用—」

金田泰昌(東京都立産業技術研究センター)

(2)「クリティカルエリアに基づくLSIの重み付きオープン/ブリッジ故障カバレッジ算出に関する一検討」

新井雅之(日本大学生産工学部)

問合せ先：肖 霄(シャオ シャオ)(首都大学東京)

E-mail: [xiaoxiao@tmu.ac.jp](mailto:xiaoxiao@tmu.ac.jp)

部会URL：

<http://www.comp.sd.tmu.ac.jp/xiao/socialactivity/index.html>

〔待ち行列〕

・第8回「学生・初学者のための待ち行列チュートリアル」

日時：2014年6月21日(土) 14:00～17:00

場所：東京工業大学大岡山キャンパス西8号館(E)

10階大学院情報理工学研究科大会議室

テーマと講師：

(1)「漸近解析入門—理論とその応用(裾の軽い分布編)—」

佐久間 大(防衛大学校)

## (2) 「Big Queues—裾の重い分布と希少事象確率—」

増山博之 (京都大学)

問合せ先: 井家 敦 (神奈川工科大学)

E-mail: inoie@nw.kanagawa-it.ac.jp

部会 URL: <http://www.orsj.or.jp/queue/>

## 〔意思決定法〕

## ・第28回

日 時: 2014年6月24日(火) 16:00~18:00

場 所: 日本大学桜門会館303会議室

〒102-0076 東京都千代田区五番町2-6

[http://www.nihon-u.ac.jp/\\_asset//community\\_and\\_service/community/alumni/pdf/map.p](http://www.nihon-u.ac.jp/_asset//community_and_service/community/alumni/pdf/map.p)

## テーマと講師:

「恐慌経済の正体: 次の経済成長戦略としてのオペレーションズリサーチ」

木下栄蔵 (名城大学)

問合せ先: 西澤一友 (日本大学)

Tel: 047-474-2664

E-mail: nishizawa.kazutomo@nihon-u.ac.jp

\*研究会終了後、懇親会を行います。

## ● 新宿 OR 研究会案内

## 〔第339回 新宿OR研究会〕

日 時: 2014年6月17日(火) 12:00~14:00

場 所: 東天紅会議室 (新宿センタービル53F)

講 師: 山下英明氏 (首都大学東京大学院 社会科学  
研究科経営学専攻 教授)

テーマ: 「生産システムの確率モデルと最適化」

参加費: 3,000円 (昼食代を含みます。事前にメールにてお申し込みください。)

問合せ先: 日本OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

## ● 他学協会協賛案内

他学会等が主催する大会やシンポジウムで当学会が協賛しているものについては、主催学会の会員と同じ費用で参加できる場合があります。詳しくは、各学会にお問合せください。

## ・第44回信頼性・保水性シンポジウム

日 程: 2014年7月10日(木)~11日(金)

場 所: 日本教育会館 (千代田区一ツ橋)

主 催: 一般財団法人日本科学技術連盟

協賛学会参加費: 日科技連 賛助会員価格

URL: <http://www.juse.or.jp/reliability/271/#01>

## ・第16回日本感性工学会大会

日 程: 2014年9月4日(木)~6日(土)

場 所: 中央大学後楽園キャンパス

主 催: 日本感性工学会

協賛学会参加費: 会員参加費を適用

URL: <http://www.jske.org/taikai/jske16/>

## ・第57回自動制御連合講演会

日 程: 2014年11月10日(月)~12日(水)

場 所: 伊香保温泉ホテル天坊

主 催: 公益社団法人社団法人計測自動制御学会

URL: <http://ftp.sice.or.jp/rengo57/index.html>

## ● 教員公募案内

## ・慶應義塾大学理工学部数理科学科

所 属: 理工学部数理科学科, 理工学研究科基礎理工  
学専攻 (数理科学分野)

募集人員: 1名 (専任講師)

専門分野: 統計科学

- (1) 教育: 学部1年次の数学共通科目, および数理科学科での統計科学に関する講義を担当していただきます。学生の教育, 研究指導に熱意をもって取り組める方を希望します。
- (2) 研究: 統計科学 (機械学習を含む広い意味での理論と応用の両面に関心を持ち, 他分野との連携, また, 国際連携を展開できる人材が望ましい。

## 応募資格:

- (1) 博士の学位またはPhDを有し, 上記の教育研究に従事する十分な能力を有すること。
- (2) データ解析ソフトウェアRを駆使した教育を展開できること。

着任時期: 2015年4月1日

## 提出書類:

- (1) 履歴書, (2) 研究業績のリスト, (3) 主な論文の別刷, (4) これまでの研究業績の概要と今後の研究計画 (2000字程度), (5) 教育および研究指導についての経験と抱負 (1200字程度), (6) 推薦書 (1通), (7) 業績についての問い合わせのできる方2名の連絡先

応募期限: 2014年6月30日 (必着)

## 書類送付先および問合せ先:

〒223-8522 横浜市港北区日吉3-14-1

慶應義塾大学理工学部数理科学科主任 田村明久

E-mail: chair@math.keio.ac.jp

\*封筒に「教員 (統計科学分野) 応募書類在中」と朱書し, 簡易書留相当にてお送りください。

・早稲田大学 理工学術院 創造理工学部・研究科  
経営システム工学科・専攻

所属：早稲田大学 理工学術院 創造理工学部・研究科 経営システム工学科・専攻

職位：専任講師，または准教授，または教授

※職位は，教育・研究歴及び年齢などによって早稲田大学が決定いたします。

募集人員：2名

研究領域：オペレーションズリサーチとその関連領域への応用

※経営システム工学への活用に貢献できる方，将来的課題を掘り起こし，新たな領域を切り開くポテンシャルを持った，創造性豊かな研究テーマへ取り組んでこられた方を期待します。

担当科目：「基礎オペレーションズリサーチ」「オペレーションズリサーチ演習」「オペレーションズリサーチA, B」「確率とその応用」「情報処理基礎演習」などのオペレーションズリサーチ及びその周辺科目，また，大学院の関連科目など，1名あたり，大学が規定する科目数を担当していただきます。

さらに，3年生秋学期のゼミ指導，4年生通年の卒業論文指導，大学院生の修士論文，博士論文の指導を行っていただきます。

応募資格：

- 1) 博士の学位を有する方，または，2015年4月1日までに博士の学位を取得見込みの方。
- 2) 研究と教育の双方に情熱を持っておられる方。
- 3) 他の教員と協力して，学部・専攻・学科の運営に力を注いでいただける方。

着任時期：1名は2015年4月1日，もう1名は2016年4月1日

※着任時期は選考過程で相談させていただきます。

応募締切：2014年7月10日(木)17時(日本時間)(必着)

URL：http://www.mgmt.waseda.ac.jp/882

\*提出書類・選考方法・書類提出先などを含め，詳細はURLをご確認ください。

2014年度年会費納入のお願い

2014年度年会費の請求書を11月に発送いたしました。納入期限は2013年12月末までとなっておりますので，お早めにご入金くださいますようお願いいたします。

大学または，会社宛の請求書が必要な場合は，以下をメールにて事務局にお知らせください(会員氏名，請求金額，請求書宛名(個人名/法人名/法人名+個人名)請求書の日付指定の有無，様式の指定…請求書/見積書/納品書，指定用紙など)。

なお，2013年度・2014年度は，「学生会員年会費無料化キャンペーン」中につき，学生会員の方には，請求をいたしません。

\*預金口座自動振替の方(正会員のみ)は2014年1月20日に引き落とし済みです(新規の受付はしていません。)

\*OR学会の事業年度は3月～翌年2月までです。

学生会員年会費無料化キャンペーン

- ① 2013年度・2014年度の学生会員年会費5,000円は無料といたします。新入会の方は，WEBより入会申し込みの手続きをし，入会金600円のみを振り込んでください。
- ② 2013年度年会費をすでに払込の学生会員の方には，ご指定の口座に返金いたします。
- ③ ①②とも正会員である指導教員様より「学生会員年会費無料化キャンペーンに応募」する旨のメールを，「教員様のお名前，ご所属，学生の方のお名前，ご所属先，メールアドレス」を明記して，学会事務局までお送りください。
- ④ 当該学生が卒業，就職などにて2013年度末(2014年2月末日)退会の場合は，お手数ですが，指導教員様より事務局にご連絡ください。

シニア会員について

正会員のうち，20年以上正会員を継続し，会費を完納している60歳以上であり，定常収入を有しない方は，理事会の承認によりシニア会員になることができます。申請/承認後，翌年度よりシニア会員となります。シニア会員の会費は7,200円です。

学会事務局までお問合せください。

**特別会員について**

正会員のうち、身体障害者手帳をお持ちの方は、その手帳の写しを事務局に提示していただくことにより、特別会員として年会費半額の免除制度があります。

**メーリングリスト登録のご案内**

OR学会ではメーリングリストを開設し、本学会ならびに各研究部会の主催する研究発表会・セミナーなどの催しに関する広報機能としてご利用いただいています。

新規にOR学会のご入会の方、未登録の方は、ご登録くださいますようお願い申し上げます。

アドレス変更の場合、各自で旧アドレスは脱退、新メールアドレスで参加登録の手続きをしてください。

詳しくは、学会WEBのメーリングリスト利用の手引きをご覧ください。

<http://www.orsj.or.jp/members/mlhowto.html>

**年会費専用振込み口座**

年会費（不課税）：正会員 14,400円、  
学生会員 5,000円、  
シニア会員 7,200円  
口座名：公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会  
ゆうちょ銀行：東京 00190-6-79492  
みずほ銀行：根津支店（店番号235）普通 1124744  
\*手数料は払込人負担をお願いいたします。  
\*会員番号とお名前は必ずお書きください。

**OR学会事務局**

E-mail: [jimukyoku@orsj.or.jp](mailto:jimukyoku@orsj.or.jp)  
〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-13-5  
サン・チカビル 7F  
TEL: 03-3851-6100, FAX: 03-3851-6055  
\*各種お届けは、メールにてご連絡ください。  
(住所/所属先/メールアドレス/ OR誌送付先/学生会員→正会員への変更/退会届) 会員氏名と新旧の変更内容をお書きください。

最新刊

**ネットワーク理論**  
モノの流れを科学する

中山 明 / 穴沢 務 共著  
B5 260頁 本体 2,800(税別)

道路網や通信網といった「網」を表記する数学的構造を「ネットワーク」と呼ぶ。「ネットワーク理論」は1950～60年代にFordやFulkersonによって始められ、アルゴリズム理論の進展とともに目覚ましい発展過程にあり、依然として、刺激に満ち溢れた分野である。本書では、ネットワーク上の「モノの流れ」に関わる問題（最短路問題、最大フロー問題、一般化最大フロー問題）を取り上げ、それらに対する代表的な解法を、初学者でもわかるように平易かつ厳密に解説した。そのために、新たな論理展開、諸命題、定理を盛り込み、難解な一般化最大フロー問題を見通しよく解析できるようにした。本書は、従来の言葉による説明に加え、数式による厳密な表現を多用して曖昧さを排し、精緻でクリアな理論体系を構築した画期的な図書である。

**主要目次**：1 グラフの諸定義 2 グラフに関するアルゴリズムとその計算量 3 最短路問題 4 最大フロー問題 5 線形計画法 6 フロー問題の一般化に向けた準備 7 一般化最大フロー問題 8 ネットワーク双対単体法(原型版) 9 ネットワーク双対単体法(多項式版) 付録A 写像に関する補足 B 行列に関する補足 C 線形計画法に関する補足

好評

**ITの基礎となる**  
**離散数学**

小豆畑隆 / 渡邊 正 共著  
B5 210頁 本体 2,000(税別)

離散数学を学ぶのは、そもそもコンピュータが基本的に有限の構造をしており、その性質の多くが有限数学系の枠組みで理解されるからである。

将来、コンピュータ科学がさらに発展し修得すべき離散数学の内容が増えることはあるにしても、読者が今後IT技術者として関わっていくには、本書の内容をマスターしておくことは極めて重要である。

本書は、離散数学の中の最も基礎的な部分を概観することを目的として書かれている。レベルは、大学初年次の学生を念頭に置いて解説した。全体としては1年間を超える分量が盛り込まれている。

**主要目次**：1章 集合 2章 命題論理と述語論理 3章 ブール代数 4章 行列と行列式 5章 行列と行列式(2) 6章 関係 7章 グラフ理論 8章 組合せ解析 問題解答 記号一覧

**エクセルを使用した統計学** 2007対応

柳沢幸雄, 井上豊, 五十嵐正夫 共著  
B5 160頁 本体 1,800(税別)

**健康・医療・栄養のためのExcelワーク**

武藤志真子, 三浦 宜彦 共編  
B5 210頁 本体 2,000(税別)

東京都葛飾区西新小岩 4-37-16 メゾンドールI&K  
Tel (03) 5654-3722(営業), 3723(編集)  
Fax (03) 5654-3720 〒124-0025

**アイ・ケイ** コーポレーション  
旧 弘学出版

E-mail: [87492web\\_info@ik-publishing.co.jp](mailto:87492web_info@ik-publishing.co.jp)  
<http://www.ik-publishing.co.jp>  
振替 00290-5-6944

\*\*\*\*\*

## 2014年度 第30回FMESシンポジウム 「ビッグデータ利活用と価値創造」

\*\*\*\*\*

**主催：**経営工学関連学会協議会

**共催：**公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会，公益社団法人日本経営工学会，一般社団法人経営情報学会，研究・技術計画学会，日本信頼性学会，一般社団法人日本設備管理学会，一般社団法人日本品質管理学会，一般社団法人プロジェクトマネジメント学会（順不同）

**協賛：**大学共同利用機関法人情報・システム研究機構統計数理研究所（文部科学省委託事業「データサイエンティスト育成ネットワークの形成」）

慶應義塾大学大学院理工学研究科・SDM研究科・経営管理研究科（文科省委託事業「スキルと実践を重視したビッグデータ・イノベーション人材育成プログラム」）

**開催趣旨：**

インターネットの普及とIT技術の進化によって生まれた大容量かつ多様なデータ，いわゆる『ビッグデータ』とその活用が注目されています。経営工学関連学会協議会（FMES）においても，ビッグデータの現状を理解し，その利活用について議論していくことは意義があります。第30回FMESシンポジウムでは「ビッグデータ利活用と価値創造」をテーマにして，ビッグデータやデータサイエンスに造詣が深い方に，各々の専門分野の視点から，ビッグデータ時代にどのように向き合うか，どうすれば価値創造につながるか，さらに，ビッグデータを活用できる人材をどう育成するかなどについて講演いただきます。

1. **日時：**2014年7月11日（金）13:00～17:05

2. **会場：**日科技連 千駄ヶ谷本部ビル 1号館3階講堂

[http://www.juse.or.jp/about/location\\_map1.html](http://www.juse.or.jp/about/location_map1.html)

3. **定員：**150名

4. **プログラム**（敬称略）

13:00～13:10 開会挨拶 FMES会長 渡邊一衛

13:10～14:00 講演1：「我が国におけるデータサイエンティストの現状と展望」

丸山 宏（統計数理研究所 副所長 教授）

14:10～15:00 講演2：「製造業におけるデータ・ドリブン分析の適用事例」

吉野 睦（(株)デンソー品質管理部TQM推進室担当次長）

15:10～16:00 講演3：「ビッグデータとビジネス・アナリティクス」

中川慶一郎（(株)NTTデータ数理システム 取締役）

16:10～17:00 講演4：「ロングテール時代における，サービスを高度化させるデータの活用」

森 正弥（楽天(株) 執行役員 兼 楽天技術研究所長 兼 ビッグデータ部副部長）

17:00～17:05 閉会挨拶 日本品質管理学会（幹事学会）会長 中條武志

5. **資料代：**4,000円（学生1,000円）税込（資料代は開催当日受付にてお支払いください。）

6. **申込み先：**一般社団法人日本品質管理学会事務局

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南1-2-1 （一財）日本科学技術連盟内

TEL 03-5378-1506 FAX 03-5378-1507 E-mail: [apply@jsqc.org](mailto:apply@jsqc.org)

Web申込み：<http://www.jsqc.org/q/news/2014/07/11/order85/order.html>

7. **問合せ先：**日本OR学会事務局 E-mail: [jimukyoku@orsj.or.jp](mailto:jimukyoku@orsj.or.jp)